

令和4年度鹿児島女子短期大学後援会総会（書面審議）
ご質問及びご意見等への回答

- ・今から梅雨に入るため心配なことがあります。電車通学なのですが、電車が災害などで止まった場合、授業はどうなるのでしょうか。行けなかった際の授業を、リモートや授業内容の録画等全ての授業で対応していただけると親としては安心です。

○ 電車等、交通機関が途絶、遅延等した場合の対応

上記の場合、遅延証明書等を添えて欠席届を提出していただきますが、課題（レポート等）を欠席した授業科目の担当教員より課して、それを提出していただくことによって、出席扱いとしております。

- ・令和4年度への繰越金がかかなり増えているのが気になりました。その年度でできるだけ還元、残金が多ければ返金、もしくは入会金や会費を減額するなり、見直していただきたいです。
- ・令和4年度予算額と令和3年度の決算額を比較してみますと、令和4年度も残金が増えるのではと思います。コロナ禍で実施できないことがあるのも承知しておりますが、繰越金があまりに増えていくような運営の仕方は疑問を感じます。

○ 令和3年度につきましては、コロナ禍の影響で、学園祭、学外での研修、サークル活動等実施できない事業・支援等もあり、繰越金が多くなってしまいました。誠に申し訳ございません。今後も、納付いただきました入会金、会費をもとに学生が充実した学生生活を送れるよう多くの支援事業を行ってまいりますので、ご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- ・記念事業積立金について、平成26・27年度に学園本部に移管されたのはなぜですか？記念事業はいつ行われるのですか？移管された分も合わせますと積立金は600万円余りになっていると思いますが、記念事業はいつ、どのような形で行われるのでしょうか？

○ 後援会では、創立記念等の際に寄附を行うため、記念事業積立金の中で単年度だけに負担が偏ることがないように複数年かけて準備しております。

本学が平成27年に創立50周年を迎えた際には、後援会から平成26年と27年の2か年で併せて500万円の寄附をいただき、本学の運営を掌る学園本部に移管いたしました。記念事業としては、平成27年に「創立50周年記念式典」及び「記念シンポジウム」を行いました。

現在は、令和7年の創立60周年に向けて準備を進めております。

・施設・設備充実費について令和4年度予算額が跳ね上がっているのは、改修など何か予定があるのでしょうか？令和3年度の決算額は69万円弱ですが、何も予定がないのに予算を多く組んでも結局は余ることになると思います。

○ 今年度は、サークル活動等における体育館での活動も増え、体育館内の補修や、熱中症対策として冷水器の交換等を予定しておりますので、予算を増やしました。

・令和3年度の実施した内容と思うので事業報告 決算の案は必要ないと思います。

○ 貴重なご意見ありがとうございます。次年度以降、確認し進めさせていただきます。

・会員親睦費の学園通信送料の内容がわからない。

後援会が学園通信を送る必要があるのか。

○ 学園通信では、本学をはじめ、志學館学園全部の設置校情報を掲載しております。

学園通信をご覧いただき、本学の教育事業、教員紹介、学生の活動等の情報を皆様にご理解いただいた中で後援会の事業を支援していただくための一環として送付させていただきます。

以上